



表2 たとえばこんな表をベースにパーソナルデータファイルを作成する

Table with multiple columns for financial data, including dates, interest rates, and various market indices. It is organized into sections for different asset classes and time periods.

この種のデータの利用法としては、たとえば以下の方法が有効だ。
1. たとえば米国の債券に投資する「パトナム・インカムオープン」のファンドをお持ちの方だったら、少なくとも米国10年債利回りと同様に、円相場もチェックしてください。
2. マーケット間の因果関係の本が具体的なデータを通じて体感できる。そのためには表2にあるとお

り、前日比で数値が下がった地点のデータ上にマーカーするといった簡単な工夫が有効だ。
たとえば表2に掲げたデータの範囲で言うと、全33地点のうち27地点でドルとユーロは円に対して同じ方向で動いている。つまり約8割の確率で円キャリー取引(円が一方のみに買われるか、一方のみに売られるかのどちらか)の原理にのっとった動きを示していることが分かる。あるいはこしはくはWTI原油価格の上昇にもかかわらずNYダウは上昇し

表1 定点観測することを検討しているマーケットデータ一覧(例示)

Table listing various market data points for observation, categorized by region (Domestic, Foreign, Commodity) and instrument type (Interest Rates, Indices, etc.).

(注)これらのうち自分の業務、仕事、趣味に応じて定点観測しておきたいと思うデータ項目にチェック印を入れる

系(あるいは有機体)のコンディションを測ろうという試みだ。そしてここで計測された結果は、多くの場合、具体的な数字として示される。そして以上

めになるといえる。データ量にもよるが、これらのデータチェック、記載に要する時間は数分~10分。つまり16時間目覚めているとして、そのわずか1%程度の時間をこの作業に振り向けるだけの意味は大いにあると思う。3カ月間続けられ、マーケットの見方が確実に変わってくるはずだ。

多くの場合、経済専門家、アナリスト、ストラテジスト、あるいはマスコミは、その時々で特に注目したいデータを切り取ってそれを読者の目の前に見せてくれる。
しかし私は、その道の専門家がその時に応じて切り取ってきたデータを見るだけでなく、主だったマーケットデータを定点観測していいのではないかと。なにしろ多くの人にとって命の次に大事な「お金の運用先である各種金融資産の価値は、マーケットの変動に応じて毎日のように変化しているのだ。

投資のツボ

マーケットデータを定点観測する仕掛けを作ってみないか?

我々はちよつと体の具合が悪くなると体温計で体温を測り、薬局の店頭にある血圧計で血圧、脈拍を測る。漢方医にかかると呼吸数、その深さ、脈の深さがチェックされる。最近では体脂肪率なども簡単に測れるようになったので、この種の器具にお世話になっておられる方も多いだらう。

これは、ある一つのシステム、系(あるいは有機体)のコンディションを測ろうという試みだ。そしてここで計測された結果は、多くの場合、具体的な数字として示される。そして以上

これは、ある一つのシステム、系(あるいは有機体)のコンディションを測ろうという試みだ。そしてここで計測された結果は、多くの場合、具体的な数字として示される。そして以上



その12